

武田先端知クリーンルーム施設と学内研究機器共用 による研究活性化にむけたワークショップ

2021年12月22日 15:00-18:30

主催 d.lab 基盤デバイス研究部門 (E-Mail: takeda-seminar@if.t.u-tokyo.ac.jp)

共催 文部科学省マテリアル先端リサーチ東大ハブ拠点

協賛 連携研究機構マテリアルイノベーション研究センター

参加形態 Zoom オンライン

申し込み (後日 Zoom URL をメール案内します): <https://forms.gle/Ve3FNZG8EVRERbei9>



武田先端知クリーンルームは電子線描画装置をはじめとするナノテク研究のためのプラットフォームを整備しており、これまで全学で広く用いられてきました。一方、最近、プロジェクト研究等で導入された装置を共用することの有用性が提唱されており、武田先端知ビルを求心力として、研究室内に存在するそれらの装置をつなぎ合わせて学内の研究機器共用により、一層の研究の推進を行うことが考えられます。本ワークショップでは、ナノテク研究に関連されている学内の多数の先生方にご参加いただき、さまざまなグッドプラクティスを共有させていただくことで、クリーンルーム施設や装置共用による先生方の研究の活性化に資する機会とさせていただきたく存じます。

プログラム 司会 三田吉郎 (d.lab 基盤デバイス研究部門)

15:00-15:05 挨拶 染谷隆夫 工学系研究科長

I 施設の現状と将来展望

15:05-15:15 武田先端知クリーンルームの現状 三田吉郎 (工学系研究科)

15:15-15:25 マテリアル先端リサーチインフラ東大ハブについて 幾原雄一 (工学系研究科)

15:25-15:30 武田先端知ビルの幅広い利用価値と将来展望 高橋浩之 (工学系研究科)

II 武田クリーンルーム関連研究の現状

15:30-15:40 田中雅明 (工学系研究科) 15:40-15:50 小西邦昭 (理学系研究科)

15:50-16:00 一木隆範 (工学系研究科) 16:00-16:10 芦原聡 (生産技術研究所)

16:10-16:20 竹中充 (工学系研究科) 16:20-16:30 磯貝明 (農学生命科学研究科)

16:30-16:40 中辻知 (理学系研究科) 16:40-16:50 金秀炫 (生産技術研究所)

16:50-17:00 高木信一 (工学系研究科) 17:00-17:10 田畑仁 (工学系研究科)

17:10-17:20 中野義昭 (工学系研究科)

休憩 5分

III 武田先端知ビルとの連携・活用への期待

17:25-17:30 霜垣幸浩 (工学系研究科) 17:30-17:35 五十嵐圭日子 (農学生命科学研究科)

17:35-17:40 鈴木雄二 (工学系研究科) 17:40-17:50 三宅亮 (工学系研究科)

17:50-17:55 杉山正和 (先端研) 17:55-18:00 川原圭博 (工学系研究科, RIISE)

18:00-18:05 池田誠 (d.lab 基盤設計研究部門)

IV 討論 18:05-18:30